

特集 はじめての 在宅緩和ケア 準備編



多死時代を迎えます。最後の日々を「住み慣れたわが家で」と願う人は少なくないのに、今は、「病院死」が圧倒的です。そこで、在宅緩和ケアへの期待が高まっています。苦痛や不調を伴い、さまざまな不安やトラブルも多い終末期に、自宅で安心して「生活」を続けてもらうには、在宅緩和ケアならではの専門性と、チームワークが不可欠です。それには、どんな「心構え」が必要なのか、先駆けで取り組んできた先達に聞いてみました。生き逝く人に寄り添うことには、専門職として、人として、大きな学びもあるようです。在宅緩和ケアを始めてみませんか？ これまでも取り組んできた方々には、さらに極める礎に、原点に立ち返るきっかけにしたいだけならと思います。